

## 檜原湿原の生き物たち

				
<b>ミツガシワ(ミツガシワ科)</b> 水河期の残存植物。九州では佐賀と大分に分布する。根元から出る葉は3枚の小葉(三つかしわ)。花は白色。 花期 4月～5月。佐賀県RDBⅡ。	<b>カササゲ(カヤツリグサ科)</b> 浅い水中に生える多年草。太くて長い地下茎がある。葉はがさがさで乾かしてスゲ笠にする。め花の上にお花。 花期 4月～6月。	<b>ヒメアギスマ(スマレ科)</b> 茎がはう。多年草。湿地に生え、白い花をつける。 花期 4月～5月。	<b>カノコソウ(オミナエシ科)</b> ハルオミナエシとも呼ぶ。高さ70cm内外。林縁のやや湿った場所に生える。 花期 5月。	<b>サワオグルマ(キク科)</b> 高さ60～90cmの多年草。全体が白いわた毛で覆われている。 花期 5月。
				
<b>ヒツジグサ(スイレン科)</b> 池に生える多年生の浮葉植物。名前は未の刻(午後2時)の開花にちなむが時刻は一定しない。花は白色。 花期 6月～11月。	<b>コバノトボソウ(ラン科)</b> 高さ30～40cmの多年草。距が弓形で細長く、やや水平に伸びる。 花期 7月。	<b>カキラン(ラン科)</b> 高さ30～60cmの多年草。湿地に生え、橙褐色の花をつける。 花期 7月。	<b>ジュンサイ(スイレン科)</b> 池に生える多年生の浮葉植物。若芽や葉の裏はぬるぬるする。めしべはおしべより先に熟す。花は赤紫色。 花期 7月～8月。	<b>コガマ(ガマ科)</b> ガマより小さく葉も細い。め花群(緑)の上にお花群(黄)がつく。秋に穂繖が飛散する。穂は黄褐色。 花期 7月～8月。佐賀県RDB準。
				
<b>シオウブ(サトイモ科)</b> 水辺に群生する多年草。葉は剣状でつやと香りがあり、端午の節句の菖蒲湯に使う。 花期 5月～6月。	<b>フトヒルムシロ(ヒルムシロ科)</b> 酸性の水を好む水草。浮き葉はヒルの居所になるという。沈水葉は細長。太い地下茎がある。花穂は褐色。 花期 5月～8月。	<b>トキソウ(ラン科)</b> 高さ15～20cmの多年草。トキ色(薄紅色)の花をつける。 花期 6月中・下旬。佐賀県RDBⅠ。国RDB準。	<b>モウセンゴケ(モウセンゴケ科)</b> 葉の表面に毛をもち、その先から粘液を出し、小さな虫を捕らえ消化する食虫植物。 花期 6月～8月。	<b>ヒメミクリ(ミクリ科)</b> 浅い水中に生える多年草。葉は線形。め花とお花をつける。花は白緑色。 花期 6月～9月。佐賀県RDBⅡ。国RDBⅡ。
				
<b>チゴザサ(イネ科)</b> 高さ50～100cmの多年草。湿地や水辺に生え、ササに似た葉をつける。 花期 7月～8月小穂をつける。	<b>イヌタヌキモ(タヌキモ科)</b> 根がなく水中に浮く食虫植物。細裂の葉につく捕虫袋に水中のミジンコなどを取り込む。花は黄色。 花期 7月～9月。	<b>ミズトンボ(ラン科)</b> 花は淡黄緑色で、前に垂れる十字形の花弁があり、トンボのような距がある。 花期 7月～9月。佐賀県RDB準。国RDBⅡ。	<b>ユウスゲ(ユリ科)</b> 芳香のある黄色の花が夕方開くので、この名がある。花は翌日の午前中に閉じる。 花期 7月～9月。	<b>シズイ(カヤツリグサ科)</b> 浅い池に生える多年草。茎の断面は三角形で小穂はとがる。県内の分布は、檜原湿原と嬉野市。小穂は黄褐色。 花期 7月～10月。佐賀県RDBⅡ。

## 檜原湿原の生き物たち

				
<b>ヌマトラノオ(サクラソウ科)</b> 高さ40~70cmの多年草。 白い花を穂状につける。  花期 7月下旬~8月。	<b>コバギボウシ(ユリ科)</b> 高さ60cm内外の多年草。 葉は根茎から群がってでる。  花期 8月。	<b>サギソウ(ラン科)</b> 高さ20~40cmの多年草。 花をシラサギに見立てて名づけられた。 花期 8月。 佐賀県RDBⅡ。国RDB準。	<b>ムラサキミカキグサ(タヌキモ科)</b> 地下に小さな捕虫袋をもつ食虫植物。花は青藍色で、距は下向き。葉はへら状。 花期 8月~9月。 佐賀県RDBⅡ。国RDB準。	<b>ミズオトギリ(オトギリソウ科)</b> 淡紅色の花弁をつける。地上の茎は直立して枝分かれせず、地中には、ほう茎がある。  花期 8~9月。
				
<b>ヒメタヌキモ(タヌキモ科)</b> 小形のタヌキモ類。水中茎と地中茎に捕虫袋をもつ。九州では佐賀だけに分布する。花は淡黄色。 花期 8~9月。 佐賀県RDBⅡ。国RDB準。	<b>コイヌノハナヒゲ(カヤツリグサ科)</b> 高さ10~60cmの多年草。 細い針金状の茎が特徴。  花期 8月~9月。	<b>シロイヌノヒゲ(ホシクサ科)</b> 高さ10~20cmの一年草。 コンペイ糖状に塊りになった白い花が群生して美しい。  花期 8月~9月。	<b>ナンテンハギ(マメ科)</b> 高さ50~100cmの多年草。 紅紫色で蝶形の花をつける。  花期 8月~9月。	<b>サイヨウシャジン(キキョウ科)</b> 高さ60~100cmの多年草。 花は鐘形の先端がややすぼまる。  花期 8月中旬~9月。
				
<b>ミミカキグサ(タヌキモ科)</b> 地下に小さな捕虫袋をもつ食虫植物。花は黄色。がくが耳掻き状になるのでこの名がある。 花期 8月~10月。 佐賀県RDB準。	<b>カンガレイ(カヤツリグサ科)</b> ため池に生える多年草。茎は50cm以上で断面は三角形。葉は退化して見れない。 小穂は緑褐色。 花期 8月~10月。	<b>サワギキョウ(キキョウ科)</b> 高さ60~100cmの多年草。 湿地に生える。密に葉をつける。  花期 9月。 佐賀県RDBⅡ。	<b>マアザミ(キク科)</b> 茎はほとんど枝分かれせず、直立した茎に付く葉はごく小さい。  花期 9月~10月。	<b>アケボノソウ(リンドウ科)</b> 高さ40~100cmの1、2年草。 湿地に生え、白花卉に黄緑色のはん点があるのが特徴。  花期 10月。
				
<b>ウメバチソウ(ユキノシタ科)</b> 高さ10~20cmの多年草。 明るい山野や草原に生える。  花期 11月。 佐賀県RDBⅡ。	<b>ヒメシダ(オンダ科)</b> 高さ30~50cmの多年草。 根茎を引いて湿地に群生し、葉は立つ。胞子を付けるやや小形の葉と付けない葉の二形がある。  花期 11月。 佐賀県RDBⅡ。	<b>ハッチョウトンボ(めす)</b> (トンボ科) 本州から九州に分布する小型種で、湿地に産し檜原湿原は県内で数少ない産地である。成熟したおすは植物間の小さな空間で縄張りをつくる。成虫は夏(6月~8月)に見られる。 佐賀県RDBⅡ。	<b>ハッチョウトンボ(おす)</b> (トンボ科) 本州から九州に分布する小型種で、湿地に産し檜原湿原は県内で数少ない産地である。成熟しためすは植物間の小さな空間で縄張りをつくる。成虫は夏(6月~8月)に見られる。 佐賀県RDBⅡ。	<b>モートンイトトンボ</b> (イトトンボ科) 北海道から九州に分布するが、佐賀では檜原湿原のみに産し、成虫は夏(6月~8月)に見られる。 佐賀県RDBⅡ。

※RDB(Ⅰ:絶滅の危機に瀕している種、Ⅱ:絶滅の危険が増大している種、準:存続基盤が脆弱な種)